

# 地域資源と 温泉

---

健康と温泉フォーラム  
2023年3月24日（金）

本日、  
お話ししたいこ  
と。

1. 簡単な、自己紹介。
2. これまで、取組んできたこと。
3. これから、取組んでみたいこと。

# 1. 簡単な、自己紹介。

---



いけはら さ と み  
**池原 沙都実**

1977年、大阪府生まれ。

**<住んだことのある街>**

大阪府：高槻市・茨木市・箕面市

兵庫県：神戸市（ポートアイランド）・川西市

愛知県：名古屋市、宮城県：仙台市、神奈川県：横浜市

東京都：中野区・杉並区・三鷹市・稲城市・調布市・中央区

**<経験したことのある仕事>**

製薬及び関連企業：メディカル部門や安全性調査部門など

IT企業：プロジェクトアドミニストレーターなど

銀行及びシンクタンク：調査・研究、レポート作成など



2. これまで、  
取組んできたこと。

# ① 一つ目の転機は、仙台市で訪れました。

- 日本酒の、美味しさに、気づきました。

⇒いろんな銘柄を、たくさん、飲むようになりました。

- 日本花火の、荘厳さに、気づきました。

⇒わざわざ、遠くまで、見に行くようになりました。

- 日本の温泉の、身近さに、気づきました。

⇒泊まるところに、温泉のある宿を、選ぶようになりました。

日本政策投資銀行東北支店  
で働くようになりました。

## ② 花火と酒は、レポートを書くことになりました。

いまでも、公表されています！

### 花火産業の成長戦略

～協調と競争による市場拡大と地域創生を目指して～

花火

平成 28 年 7 月



株式会社日本政策投資銀行  
東北支店

### 日本酒を核とした地域の賑わい創出に向けて

～秋田県の発酵文化を活かした取り組みを事例に～

2019 年 2 月



株式会社日本政策投資銀行



株式会社日本経済研究所  
Japan Economic Research Institute Inc.

 DBJ 株式会社日本政策投資銀行

 株式会社日本経済研究所  
Japan Economic Research Institute Inc.

酒

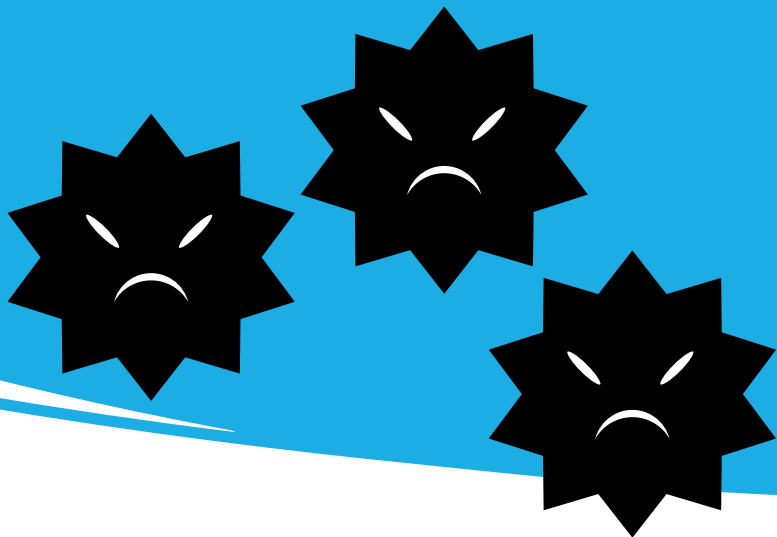
### ③ 二つ目の転機は、仙台市から東京都への転居です。

---

- 日本政策投資銀行から、日本経済研究所に移りました。  
⇒銀行の企画調査課職員から、シンクタンクでの研究員に。
- 地域に焦点を当てた調査を受託する部署に配属されました。  
⇒最初のレポートは前述の酒、そして再び花火を書きました。
- 念願の温泉レポート案件を受託し、調査に取り組みました。  
⇒日本政策投資銀行東北支店に所属していたことが縁でした。



しかし、ここで、なんと！  
新型コロナウイルス感染症が。





#### ④ 新型コロナの影響で、できなくなったことがあります。

---

- 念願の温泉レポート案件は、完成の陽の目を見ず終了されました。

⇒インバウンドにも焦点を当てていたため、時勢に合わずとの判断に。

- 2作目の花火レポートで書いた取組は、足踏み状態となりました。

⇒不要不急の外出には自粛要請、花火大会は軒並み中止に。

- 感染防止対策の矛先が居酒屋などに向かったため、酒がピンチ。

⇒国税庁酒蔵ツーリズムモデル化事業では、人を集めた実証できず。

## ⑤ 新型コロナの影響でも、何とかできたことはあります。

---

- 花火大会が中止されたことによる経済損失を試算、公表しました。  
⇒共同通信社による配信、地方紙等での記事化、雑誌や機関誌への寄稿等、情報発信には貢献したと思います。
- 国税庁の酒類振興事業における、レポート作成等に携わりました。  
⇒今年度まで3年間継続して携われたことは、何等か貢献ができているものと思います。それが契機で、雑誌への寄稿等も行いました。
- 温泉は、健康と温泉フォーラムに参加する契機をいただきました。⇒インプットの機会をいただきましたが、アウトプットはできていません。

## 日本の温泉の今後を考える－有識者からの提言集

温泉への思いと心を絆ぐプロジェクト2021

新型コロナウイルス感染症パンデミックを超えて



since 1986

2021年8月

特定非営利活動法人健康と温泉フォーラム

期待や課題意識、将来に向けて  
望みたい支援や取組むべき  
事項等、感じることができま  
した。

### 日本の温泉の今後を考える－有識者からの提言集

温泉への思いと心を絆ぐプロジェクト

新型コロナウイルス感染症パンデミックを超えて

発行日 2021年8月20日

発行者 特定非営利活動法人健康と温泉フォーラム  
〒151-0066 東京都渋谷区西原1-50-2-403 ☎：03-6804-8575  
ホームページ：http://www.onsen-forum.jp

編集者 「日本の温泉の今後を考える－有識者からの提言集」委員会  
委員長 合田 純人 特定非営利活動法人健康と温泉フォーラム 常任理事  
委員 関口 陽一 独立行政法人経済産業研究所 上席研究員 フォーラム専門委員  
坂本 誠 特定非営利活動法人ローカル・グランドデザイン 理事 フォーラム専門委員

© Photos and copies by The Forum on Thermalism in Japan 2021 printed in Japan 300

そこで出会った  
「日本の温泉の今後を考える」  
に感銘を受けました。

3. これから、  
取組んでみたいこと。

# ① 「温泉」のために、もう少し時間を使いたいです。

---

- 温泉に関して、勉強する機会を作りたいと思っています。

⇒健康と温泉フォーラムの月例等、参加する時間を確保したいです。

- 温泉に関して勉強したことを、私なりに整理したいです。

⇒体系的な理解をするために、レポート化したい思いがあります。

- 花火や酒との連携による、温泉地の活性化を考えたいです。

⇒いずれも日本らしく、ナイトタイムエコノミーに強いコンテンツなので、相性が良いと思っています。ただ、演出は、もっと工夫できるはず。

## ② こんな取組が応用できないか？【其の壱】

### ・ 「宿花火」：全国での（温泉）宿×花火の新しい取組

⇒全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会青年部の声掛けにより制定された

「宿の日」（8月10日）に、全国の旅館・ホテルが公益社団法人日本煙火協会の協力のもと、全国47都道府県の各地で花火を打上げる企画。

### ・ 鳥取県三朝温泉でも「宿花火」の打上実績があります。

- ・ 開催日詳細： 令和4年8月8日～8月12日
- ・ 打上げ場所： 三朝温泉恋谷橋上流
- ・ 打上げ時刻： 20時25分
- ・ 打上げ規模： 各日43発
- ・ お問い合わせ： 三朝温泉旅館協同組合

Webサイト



### ③ こんな取組が応用できないか？【其の弐】

- 「熱海海上花火」：コロナ前から続いている、**温泉**×**花火**の取組。



温泉地への客足を支えた好事例。  
こんな連携が、他にも進まないか  
な？

広:



明治元年創業の山内製火药。先頃は火薬師として江戸時代の文藝に食を賄っており、甲府城の御膳番の職務を担っていたといふ。山梨県第1号となる花火製造免許の交付を受けて以来、150年以上にわたり花火業者としてその技術と伝統を守り、同時に新たな挑戦を続けている。

山内 浩行<sup>△</sup>(左)・祐一<sup>△</sup>(右)  
株式会社 山内製火药  
〒400-0001 山梨県山梨市  
TEL.055-262-2902

てくてく  
甲斐の国

夜空に描く一瞬のロマン  
父子で追い求め続ける、いつまでも感動の余韻が心に残る花火

「花火の魅力は花のようにはじけと散っていく」と語る山内浩行氏。花火の歴史は古く、江戸時代には「花火師」として花火を製造・打ち上げ、祭りの盛り上げ役として活躍していた。山内氏は、父・山内浩一氏から花火の技術を継承し、現在は父子で花火の魅力を伝える活動を行っている。

出所：山梨県「てくてく」

Vo.15

てくてく

## ④ 私の理想（妄想）は、こんな感じです。

谷んだら車の運転が  
できなくなるし、  
ゆっくり泊まって  
いてね！

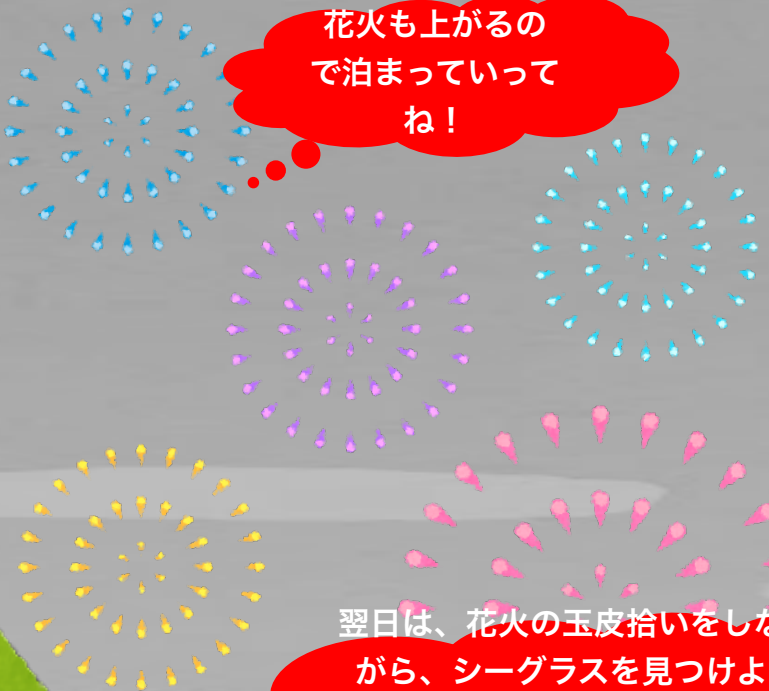
地域産品活用による自  
給率UP×滞在時間延長  
による消費拡大



温泉が湧いている  
ので、何度も入って  
ね！  
だから、泊まっていっ  
てね！



花火も上がるの  
で泊まっていて  
ね！



翌日は、花火の玉皮拾いをしな  
がら、シーグラスを見つけよ  
う！  
アクセサリーにも加工できる  
よ。  
だから、泊まっていてね！

電車がなくな  
ると、山の麓から  
車だ...



電車の利用者が減っ  
て、廃線の危機...。  
利用者を増やして廃線防  
止





ご自身の、  
well-beingに  
気づくシーンに、温泉を。

ご清聴、ありがとうございました。

